

需要予測について

1 需要予測

- これまでの調査において行った需要予測は、平成4年に実施した宇都宮都市圏パーストリップ調査のデータや平成13年に実施したLRT利用に関する意識調査結果を基に推計したもの

⇒ 全体区間（約15キロメートル） 44,900人/日

優先整備区間（約12キロメートル） 13,740人/日

- 今後、LRTの事業化に向けては、上記需要予測の精査を行い、より精緻な推計のもと施設計画や運行計画、採算性の検証等を行っていく必要がある。
- また、本年10月、芳賀町から、市・町が協力・連携し検討を進め、本市と同時期の事業化を目指していくことなどの要望があったことを受け、新たに芳賀町域におけるLRTの需要を把握していく必要がある。
- このようなことから、次のとおり、段階的に需要予測を精査するための調査を実施していく。

⇒ ① 企業ヒアリング（実施済） **資料4**

通勤・通学等においてLRTの利用が想定される企業、学校、商業施設等への聞き取り調査により、確実にLRTを利用する利用者数（通勤バスからの転換、企業等が予測する転換者数、転換率）を把握

② 沿線従業者アンケート調査（平成25年度実施予定） **資料5**

LRTの利用が想定される企業の従業者へのアンケート調査を実施し、利用意向、転換可能性、利用のピーク時間等を把握

③ 交通実態調査（平成26年度実施予定）

全体区間（JR宇都宮駅西側）の整備や将来的な延伸の可能性を見据え、都市圏全体の交通実態を把握し、LRTの需要を再推計